ボーリング柱状図

調　査　名

事業・工事名

ボーリングNO.								

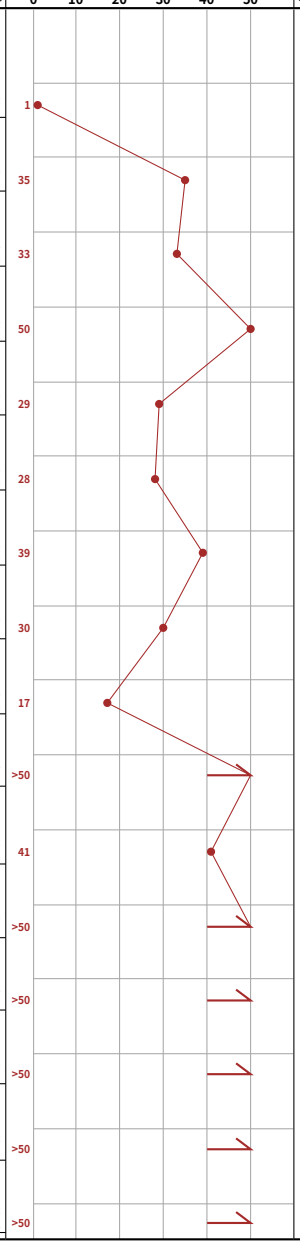
シートNO.

ボーリング名	NO.B-2(右岸)	調査位置				北　緯	36 ° 25 ' 09.0000 "
発 注 機 関	栃木県宇都宮土木事務所		調査期間	2008-07-17 ～ 2008-09-29		東　経	139 ° 54 ' 01.0000 "
調査業者名		主任技師	現　場代 理 人		コ　ア鑑 定 者	ボーリング責任者	
孔 口 標 高	58.71 m	角度	180° 上 90° 下 0° 0.00 °	方向	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南 0.00 °	地盤勾配	鉛直 90° 水平 0° 0.00 °
総 掘 進 長	17.35 m	使用機種	試 錐 機		ハンマー落下用具		
			エンジン		ポ ン プ		

標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事	地層岩体区分	孔内水位 (m) ／ 測定月日
	58.11	0.60	0.60		シルト (M)	黒褐		中位	粘着中位。有機物少量混じる。		07/29 0.81
1	57.31	0.80	1.40		粘土 (CH)	茶褐		中位	粘着やや強い。細砂少量混じる。		
	56.96	0.35	1.75		砂質粘土 (CHS)	淡褐		中位	粘着強い。細砂均一に多く混じる 1.65から1.75mの間、細砂挟む。		
2					砂礫 (GS)	暗褐	密な		礫径2から50mmの円、亜円礫主体 コア長50mm程度の玉石点在する。 礫間粗細砂にて充填。 含水比は中位となり、粘性分混じる。 5.30mより礫間、不規則に砂多く混じる。 含水比はやや高位となる。 6.90mより所々粘土分多く混じる 7.00mまで崩壊激しい。		
3											
4											
5											
6											
7											
8											
9	49.81	7.15	8.90		礫混り粗砂 (CS-G)	暗褐灰	中ぐらい		含水比は高位。粘性分混じる。 礫径2から25mmの円礫混じる。		
	49.21	0.60	9.50		粘土混り砂礫 (GS-C)	暗褐	密な		礫径10から60mm主体。 礫種は円・亜円礫主体。 間隙に粘土分を含む粗粒砂充填。 コア長50mm程度の玉石、所々混じる。 含水比は中位から高位。 深度10.95mから11.10mの間、砂層挟む。 全体に固結し締まる。 15.80mにて完全に逸水する。		
10											
11											
12							非常に密な				
13											
14											
15											
16											

標準貫入試験

深度 (m)	10cmごとの打撃回数 0-10	10-20	20-30	打撃回数／貫入量 (cm)	N値
1.15	0/11	1/20		1/31	1
1.46					
2.15	12	13	10	35/30	35
2.45					
3.15	10	11	12	33/30	33
3.45					
4.15	13	19	18	50/30	50
4.45					
5.15	13	9	7	29/30	29
5.45					
6.15	12	8	8	28/30	28
6.45					
7.15	12	11	16	39/30	39
7.45					
8.15	7	10	13	30/30	30
8.45					
9.15	6	5	6	17/30	17
9.45					
10.15	18	20	12/7	50/27	>50
10.42					
11.15	14	13	14	41/30	41
11.45					
12.15	15	16	19/9	50/29	>50
12.44					
13.15	20	16	14/7	50/27	>50
13.42					
14.15	19	21	10/5	50/25	>50
14.40					
15.15	14	18	18/8	50/28	>50
15.43					
16.15	15	23	12/4	50/24	>50
16.39					



原位置試験 深度 (m)	試験名および結果	試料採取 深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験	掘進月日
		6.50	2-1	⊖	粒度,比重	07/29
		7.00				
		8.90	2-2	⊖	粒度,比重	
		9.50				
		10.50	2-3	⊖	粒度,比重	
		11.00				07/30

17	41.36	7.85	17.35		粘土混り砂礫 (GS-C)	暗褐	非常に密な		礫径10から60mm主体。礫種は円・亜円礫主体。間隙に粘土分を含む粗粒砂充填。コア長50mm程度の玉石、所々混じる。含水比は中位から高位。深度10.95mから11.10mの間、砂層挟む。全体に固結し締まる。15.80mにて完全に逸水する。			16.15 16.39 17.15 17.35	15 21	23 29	12/4	50/24 50/20	>50 >50														07/31